

テーマ 校内webページ、ネットワークを活用した
総合的な学習の時間の取組」

提案者 沼田市市立池田中学校 平形隆正

1.提案の概要

(1)提案の趣旨

これまでの情報教育は、コンピュータを利用する技能や知識の習得を中心としたものであったが、これからは学校におけるすべての教育活動において情報教育が進めてられていくことはもちろんのこと、多様な学習活動における視聴覚機器及びコンピュータ等の情報機器の活用が求められているといえる。このような現状から、特に次の2点について指導者の意識改革と情報機器やネットワークの整備を進めていかなければならないと考える。

パソコンは指導者及び学習者の創意工夫により様々な面で活用できる道具であること。

指導者及び学習者の多様なニーズに応えられるネットワークの整備と個々のコンテンツ等の管理が行き届いていること。

上記のことをふまえ本校での取り組みについて提案させていただきたい。

(2)研究内容

校内webページの作成と活用

本校では生徒のコンピュータ活用を支援する目的で、校内webページをサーバーに置いている。ブラウザからインターネットに接続すると、校内webページに接続される。生徒は校内webページから検索サイトに接続したり、他学年の取り組みを参照し関連webページにリンクしたりして主体的にネットワークを活用している。

*池田中学校校内ホームページ

文部科学省をはじめ、群馬県、教育委員会、教育センターなど関係諸機関へのリンクの他Yahooやgooなど検索サイトへのリンク、総合的な学習の時間関連リンク集など、様々なコンテンツへのリンクが可能となっている。

ファイルの共有・個人フォルダの管理

本校ではすべてのクライアントが、学年の共有フォルダや総合的な学習の時間の共有フ

ォルダなどを自由に参照することができるようにサーバーにネットワークドライブを置き活用している。ネットワークドライブはクライアントの起動時に接続され、エクスプローラ等を活用して必要なときに共有フォルダを参照できる。生徒はこの共有フォルダを活用して自分で作成したデジタル素材を他の生徒に公開したり、他の生徒の素材を参照し活用したりしている。

*個人ファイルの管理

生徒は個人で作成したファイル等は個々に管理し、市販ソフトを活用して、個人フォルダに保存しているが、他の生徒に自由に参照してほしい物については共有フォルダにコピーを作成しておくことになっている。特に、インターネットのサイトから入手したホームページ作成素材などについては、素材集などの共有フォルダに保存しみんなで活用している。

グループウェアの活用

本校では個人フォルダ管理、電子メール、掲示板、会議室を活用することのできるグループウェアを導入し活用している。個々の生徒が作成したデータやコンテンツを管理していくうえで、このようなソフトウェアを活用していくことは有用である。また、イントラネットの中での掲示板、会議室、電子メールの活用は生徒の情報モラルや情報活用能力の育成に非常に効果的である。

*TDKソフト「通信くん」

昨年度購入した市販のソフトウェアで、主に個人フォルダのパスワードによる管理とソフトウェア付属のコンテンツである電子メール・掲示板、会議室などを活用している。昨年度まではサーバーのネットワークドライブ上に個人フォルダを置いていたため、他人のフォルダをうっかり移動してしまったり、削除してしまったりといったことがあった。そのため個人フォルダの管理は重要な課題となっていたが、本ソフトの導入により、個々の

生徒が自分で管理する手助けとなるとともに、情報モラルについて考えることもできた。さらに、電子メールの送受信が校内のネットワーク内で簡単にできるので、対外的なメールをやりとりする前段階のネチケットなどの指導に役立っている。

総合的な学習の時間の取組

生徒にわかりやすく、扱いやすいネットワークの構築により、情報の円滑な検索、デジタル素材の効果的な活用など、生徒は自己の興味関心を生かし、創意工夫を重ねながら、総合的な学習の時間への取り組みを推進している。総合的な学習の時間の研究成果発表会の場でもコンピュータ及びプロジェクター等を効果的に活用し成果を上げている。

～総合池田：とまと・きゅうり学習の取組から～

*総合池田：とまと・きゅうり学習

本校では、平成12年度より総合的な学習の時間を開設し、全校で取り組むテーマ学習と個人個人で取り組む個人研究との二本立てで総合的な学習の時間を推進してきた。

全校で同じテーマについて体験的・実践的な活動を進める学習を“全校とまと総合”、学年で取り組む学習を“学年とまと総合”、個人の課題やテーマを追究していく学習を“きゅうり総合”というように生徒に親しみやすい名称としている。

共有林の下草刈り（環境関連全校とまと）

全校とまと総合の1つで、本校では50年以上継続して取り組んでいる伝統的な行事である、総合的な学習の時間のスタートとともに、全校で取り組むテーマ学習として位置づけている。学校区にある学校共有林の下草刈りを地元財産管理会、全校生徒・職員、PTA役員で協力して行う行事である。当日の作業に至るまでに、環境講演会を含めた事前学習会を実施している。

事前学習会では、下草刈りの意義や樹木の生長、身の回りの環境問題などについて、全校生徒で調べ学習を行い、全校の場で発表会を実施している。

共有林の下草刈り事前学習会は全校で取り組む、環境関連のテーマ学習であるが、総合

的な学習の時間の学習スキルを身に付ける場としても位置づけている。生徒はこの事前学習会の準備、当日の発表会を通して、調べ学習の進め方、発表資料の作成方法、わかりやすいプレゼンテーションの仕方などを身に付けていく。また、1年生は掲示資料を中心とした発表資料を多用する、2年生はOHPなどの視聴覚機器を活用する、3年生は視聴覚機器及びパソコン、プロジェクターなどを活用するというように系統的にプレゼンテーションの仕方を身に付けていけるように指導を工夫している。

きゅうり総合中間発表会・学習成果発表会
昨年度から、個人研究における中間発表会を学年ごとに、学習成果発表会を全校の場で実施している。

ア 中間発表会の実践

昨年度2年生の中間発表会では、系統的なプレゼンテーションの指導をふまえ、パソコンを活用したプレゼンテーションを中心に発表資料を作成していった。個人研究の成果をMicrosoftPowerPointを活用したプレゼンテーションに生徒全員がまとめた。関連する研究テーマについて研究している生徒でグループングし中間発表会を行った。

中間発表会は研究内容から、自然環境グループ、生活環境グループ、地域文化グループの3つのグループに分かれて行った。各グループには専門的な知識を持つ地域の方や関係諸機関の方に助言者として御協力いただき、生徒の発表に様々な助言をいただくことができた。

イ 全校学習成果発表会

本校では学年ごとに行う研究発表会に加え、平成13年度から全校成果発表会を実施している。全校発表会当日は各学年の代表者がそれぞれの研究の成果を発表した。発表会当日は助言者として本校学校区の振興協議会長さんをお招きし、ご指導やご助言をいただいた。1年生の代表者は主に模造紙やOHPシート、実物などを用いた研究発表、2、3年生はパソコン資料を用いた研究発表を行った。全校の場で行ったことで、他学年の取り組みの様子を参考とすることができ、下級生は上級生の取り組みを次年度の研究を構想していく上

で参考にすることができた。また、プレゼンテーションの仕方、パソコンを利用した発表の方法やよりよい発表資料の作成について考えるよい機会となった。

(3) 研究の成果と今後の課題

群馬県の北部、沼田市内でも山間部に位置する本校では、パソコンを利用したネットワークの活用は大変有意義な情報検索手段であり、総合的な学習の時間を推進する上で重要な役割を担っている。本校におけるこれまでの総合的な学習の時間の実践を通して、ネットワークを活用した学習指導の在り方について研究を深めることができた。

特に以下の点に留意した学習活動を進めることで、情報教育の充実を図ることができた。

生徒が自ら学び課題を解決していくためには、多様な情報を生徒が自ら主体的に処理したり、活用したりしていくための情報活用能力を系統的に指導していくこと。

生徒が収集した情報を扱いやすく、わかりやすいものとしていけるよう、ネットワークを整備していくこと。

これからは、教育現場への情報教育機器の導入が急速に進む中で、生徒が自由にパソコンを利用し、ネットワークを活用しながら主体的に学習を進めていくことのできる体制づくりが必要であると考え。さらに、情報教育全体計画や各教科等の単元や領域における指導計画、指導細案の作成と全教職員の共通理解のもと、情報活用能力をより一層高めていくための系統的な指導支援の工夫をふまえた、情報教育を推進していかなければならないと考える。

2, 研究協議の概要

群馬県笠懸南中 松沢

質問技術科の情報で指導していく場合、1年生から3年生までどのような段階を追って指導しているのか。また、総合学習とは、どのように関連を図りながら指導しているか。

答え技術科では、1年で10時間、2年で25時間、3年で17,5時間を「情報とコンピュータの時間」として指導している。

総合の時間の中でもパソコンのスキルを高める指導を系統的に取り入れ、コンピュータや視聴覚機器を使った発表も効果が上がった。

総合の実践により、他の教科の先生がパソコン室を使用するようになった。

群馬県新田郡新田町生品中 渋沢

質問ハイパーキューブの掲示板の機能を使って総合のまとめで使用しているが、あまりできが良くないという現状がある。生徒は、どんなソフトを使っているのか。また、「通信君」の良いところは？

答え大人になっても使えるものを、使わせたい。そのためワードやフロントページエクスプレスを使っている。「通信君」は、イントラネットで使用している。掲示板は、公のものであることを強調して指導している。

3, 指導講評

群馬県教育委員会利根教育事務所

学校教育課 指導主事 武井 修

情報技術(IT)の急速な発達により、様々な分野での情報化が進んでいます。情報伝達媒体の多様化、情報量が飛躍的に増加し、情報機器が情報発信・コミュニケーションツールとして活用され、通信環境の高速化やネットワーク化により社会環境が大きく変わろうとしています。

学校教育においても、ITによって「学校が変わる」「授業が変わる」「子どもたちが変わる」といわれています。その様な中で、本日は、太田市立南中学校におきまして関東甲信越放送・視聴覚教育研究大会群馬大会の分科会が開催され、公開授業・実践発表が行われました。関係者の皆様には、大変ご尽力をいただき誠にありがとうございました。

公開授業においては、インターネットを活用した2つの授業をご提案いただき、子どもたちの学びの空間が格段に飛躍することを実感しました。

実践発表においては、技術、総合的な学習の時間における放送・教育メディア機器活用について2つご提案いただきました。沼田市立池田中学校の平形隆正先生には「校内 Web ページ、ネットワークを活用した総合的な学習の時間の取組」と、総合的な学習の時間における示唆に富んだ内容であったと思います。

その中に3つの利点・可能性があったと思います。

校内 Web ページ・ネットワーク活用によ

り、生徒の主体的な学びが期待できること。

過年度の総合的な学習の時間の成果も蓄積されていることから、課題設定・課題追究など学習のはじめからの活用が可能である。

校内 Web ページ・ネットワーク活用により、生徒の主体的な学びから、確かな情報活用能力の育成が期待できること。

資料の収集・分析・整理をはじめプレゼンテーション、まとめまで各段階における確かな力が培われる。スキルのみならず、「生きる力」の要素である問題解決能力の育成にも大きく関わっている。

多様なニーズに応えられる環境整備や管理、指導者・学習者の創意工夫された活用を意図されており、1人の先生、部分的な活用だけでなく、全体の教員の指導力向上、いろいろな教科等での活用が期待できること。

また、課題を3点ほどあげられるかと思えます。発表の中で今後の課題にも取り上げられておりましたが

さらなる学校全体での生徒の情報活用能力の育成のためにも「情報教育の全体計画」をはじめ、各校の特色ある総合的な学習の時間の指導計画等、指導計画の整備を進めること。

「情報社会に参画する態度」の指導の必要性を重視すること。指導の在り方を探ること。

この点については、情報機器を使用している犯罪に児童・生徒が巻き込まれている現状を見ましても急務であると思えます。情報発信する時代、山梨県の西川先生の発表にもあったように「情報モラル」の学習は重要であり、被害者だけでなく加害者にもなりうることを押さえておきたいと思えます。なお、指導にあたっては、情報社会の影の部分強調しすぎることなく、情報技術のよさを充分実感させながら並行して指導することに留意したいところです。

指導者の意識改革と指導力向上を図るための研修を進めること。

教員のコンピュータ操作、コンピュータ指導等に関する情報教育実態調査も行われていますが、技術科をはじめ、操作などが得意な先生方の力に委ねられている部分が多いでしょうが、「いつでも」「どこでも」「だれでも」操作できる、指導できるよう研修を進める必要があります。

生徒が情報機器を手段として活用し学び「子

どもたちが変わる」時代、ペーパーレス化や職員会議時間の短縮、テレビ会議など「学校が変わる」時代、「情報を見抜く目」「情報を処理する知恵」をもつ子どもたちを育成するため、本協議会のさらなる発展を祈念し、沼田市立池田中学校平形先生をはじめ、資料や授業を提供いただいた先生方に感謝申し上げ指導助言に代えさせていただきます。